

みずほCustomer Desk Report 2024/04/09 号 (As of 2024/04/08)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	151.81
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	151.68	1.0828	164.25	1.2623	0.6570
SYD-NY High	151.94	1.0862	164.90	1.2663	0.6610
SYD-NY Low	151.63	1.0821	164.22	1.2601	0.6560
NY 5:00 PM	151.84	1.0860	164.90	1.2654	0.6605
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,892.80	▲ 11.24	日本2年債	0.2200%	0.0100%
NASDAQ	16,253.96	5.43	日本10年債	0.7800%	0.0100%
S&P	5,202.39	▲ 1.95	米国2年債	4.7918%	0.0423%
日経平均	39,347.04	354.96	米国5年債	4.4295%	0.0392%
TOPIX	2,728.32	25.70	米国10年債	4.4208%	0.0222%
シカゴ日経先物	39,485.00	115.00	独10年債	2.4395%	0.0410%
ロンドンFT	7,943.47	32.31	英10年債	4.0840%	0.0185%
DAX	18,318.97	143.93	豪10年債	4.1950%	0.0790%
ハンセン指数	16,732.85	8.93	USDJPY 1M Vol	7.85%	0.40%
上海総合	3,047.05	▲ 22.24	USDJPY 3M Vol	7.96%	0.04%
NY金	2,351.00	5.60	USDJPY 6M Vol	8.30%	0.07%
WTI	86.43	▲ 0.48	USDJPY 1M 25RR	▲ 1.42%	Yen Call Over
CRB指数	297.48	▲ 0.11	EURJPY 3M Vol	7.81%	0.02%
ドルインデックス	104.14	▲ 0.16	EURJPY 6M Vol	8.26%	0.06%

東京	東京時間のドル円は151.68レベルでオープン。週末を挟んで中東での地政学リスクが落ち着いたことを受けて日本株が反発する展開の中、ドル円も底堅く推移。ただ、上値を試すには材料不足感もあり151円台後半でもみ合い推移となった。結局151.82レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、151.82レベルでオープン。特段の材料がない中、米10年債利回りの上昇を背景に底堅く推移し、結局151.93レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は151円台半ばでスタート。日本株高や、米金利の上昇を横目に、ドル円は底堅く推移し、151.93レベルでNYオープン。朝方は上昇していた米金利が低下する展開が重しとなり、151.73まで下落する。続いて発表された米3月NY連銀1年先のインフレ期待も前回の結果を下回ったことから、その後も151.80近辺で上値重い展開が続く。午後は手がかり材料を欠く中、151.80付近を挟んだ狭い推移が続き、151.84レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.08台半ばでスタート。米金利が上昇する展開や、独2月貿易収支における輸出の部分が予想より悪化した事が上値を抑え、1.0824レベルでNYオープン。午前中は独短期金利が上昇する動きに買いが優勢となり、1.0860手前まで上昇。午後は米長期金利が低水準で推移する展開を横目に、終盤は日中高値の1.0862まで値を上げ、その後1.0860レベルでクローズ。

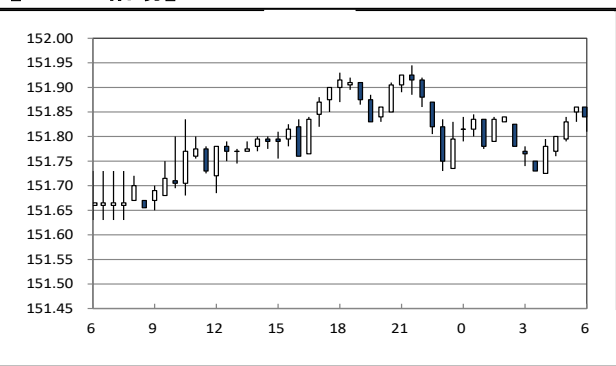
【昨日の指標等】

Date	Time	独	Event	結果	予想
4月8日	15:00	独	鉱工業生産(季調済/前月比)	2月 2.1%	0.5%
	15:00	独	輸出/輸入	2月 -2.0%/3.2%	-0.5%/-1.2%
4月9日	00:00	米	NY連銀1年期待インフレ	3月 3.00%	-

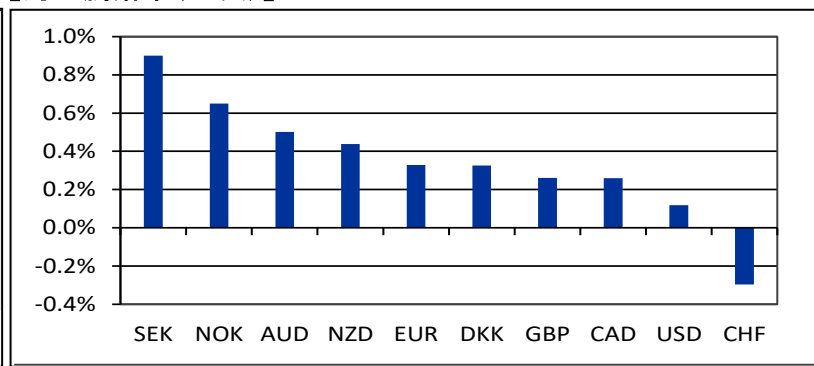
【本日の予定】

Date	Time	豪	Event	予想	前回
4月9日	09:30	豪	ウエストバック消費者信頼感指数	4月 -	84.4

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	151.30-152.30	1.0800-1.092	164.00-165.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は151円台後半でレンジ推移。日本株高や米金利の上昇を横目に、ドル円は底堅く推移し、151.94まで上昇。米国時間に入ると、米金利の上げ幅が縮小したことを背景にドル円は上値重く推移し、151円台後半で動意に欠ける展開が続いた。
本日のドル円は引き続き151円台でのみ合い推移を予想。先週末に発表された強い米雇用統計の結果を受け、米長期金利は4.4%台まで上昇し高値圏を維持している。また、複数のFED高官によるタカ派的な発言が続いており、利下げ観測が後ずれしている。かかる状況下では、ドルが買われやすい環境だが、米3月CPIの発表を明日に控えているため上値追いは限定的となりそう。152円台を前に本邦当局者の円安牽制発言が出る可能性が高く、ヘッドラインには注意したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。